

大 学 図 書 館 問 題 研 究 会 京 都

URL : <http://www07.u-page.so-net.ne.jp/rg7/dtkk/index.htm>

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34 京都橋女子大学企画調査課 田北十生気付
(Tel) 075-574-4112 (Fax) 075-574-5141



大図研京都セミナー2001

「ネットワーク環境下における図書館サービス」

●ホームページからも参加申し込みができます!

<http://www07.u-page.so-net.ne.jp/rg7/dtkk/occ.htm>

日時：2001年4月から8月（月1回・土曜日）全5回

14:00-15:30 講演 15:40-17:00 質疑応答

*第5回会員による発表は、3本予定（各発表時間30分、質疑応答20分）

場所：キャンパスプラザ（JR京都駅前）

参加費：1000円/1回（第5回を除く）

主催：大学図書館問題研究会京都支部（音声記録をします）

*各セミナー終了後、懇親会を予定

第1回 4月28日（土）

湯浅俊彦氏（旭屋書店）「デジタル時代の出版メディア」

第2回 5月26日（土）谷口敏夫氏（光華女子大学）「電子図書館の評価」

第3回 6月23日（土）

大城善盛氏（同志社大学）「ネットワーク時代の情報リテラシー教育」

第4回 7月14日（土）北克一氏（大阪市立大学）「メタデータと図書館」

第5回 8月4日（土）大図研会員による個人発表3本 ***募集中***

【お知らせ】

支部報編集部では会員の皆さんからの投稿をお待ちしています。ホームページから投稿ができます。投稿ページは下記のURLからお気軽に!!

■支部報投稿■

<http://www07.u-page.so-net.ne.jp/rg7/dtkk/re.c.htm>

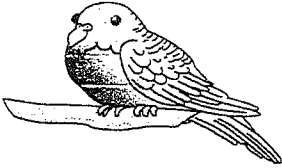
目次	大図研京都セミナー2001.....1頁
	お知らせ.....1頁
	電子ジャーナル・電子資料をめぐって.....2頁
	セミナーの発表者募集中!.....3頁
	第6回支部委員会報告.....4頁

ご意見・ご要望、投稿はメール、又はFAXで
編集気付（dkamr302@kyoto.zaq.ne.jp）takitaまで

電子ジャーナル・電子資料をめぐって

大図研京都セミナー2001

「ネットワーク環境下における図書館サービス」 開催にあたって



大館和郎

図書館は現在、パッケージ形態の資料とともにネットワーク上のサーバに蓄積された電子データといった形態の資料も取り扱うようになってきている。これは見方をかえれば所有とアクセスを併用する時代に移行していると言える。

国立情報学研究所は1999年度の総合目録小委員会及び総合目録委員会での検討の結果、「暫定案」というかたちで総合目録データベースにおける電子ジャーナルの取扱い方針を公開した(NACSIS-CAT/ILL ニュースレター1号 2000.8.10)。

同研究所が運営する新目録所在情報システムに関するメーリングリスト(NEWCAT-ML)において、この2月から3月にかけて総合目録データベースへの電子ジャーナルの登録をめぐっての発言が取り交わされている。そこに見られるのはネットワーク系電子資料の取扱い件数が増加しつつある中での過渡期特有の試行錯誤の様相である。

電子図書館サービス NACSIS-ELS で提供している学協会誌の総合目録データベース(SERIAL)への登録が国立情報学研究所によって先行的にこの2月になって続々に行われているが、登録された書誌レコードの内容に対しての質問とこれに対する回答から判断すると、データ登録のルールの適用について国立情報学研究所自身の態度がすべての面で明確とは言えない。

この状態で各参加機関による書誌レコード登録が開始することは、時期尚早だという発言が出ている。事実、この件に関して、国立情報学研究所側からは「電子ジャーナル登録については、こちらで、レコード登録をいくつか行ない、事例等を例示できるようにしたうえで依頼する予定であり、暫定的な方針の部分は、それを明示し、参加館からの意見等もあわせて集約していきたい」旨の回答が出ている。

別のML参加者は「電子ジャーナルの実例・現状に即して、適切な規定に修正してゆく必要がある。実例のないところで、理論だけ先行しても、うまい規定とならない。」と発言している。そういう意味では、日本目録規則 1987年版改訂版において、電子資料に関する見直しがなされ、2000年8月に刊行された「第9章電子資料」も同じような見方ができるのではないか。

ここで問題になっていることは、ネットワーク上の電子資料の書誌作成単位をどのようにとらえるかということである。たとえば、同一冊子体に対応する電子ジャーナルが複数の頒布者・制作者から提供される場合、電子ジャーナルのレコードは冊子体のレコードと常に1:1に対応するわけではない。

国立情報学研究所によれば、冊子体ジャーナルの「出版者」が異なれば別書誌レコード

とするが、電子ジャーナルの「サービス提供者」が異なっても別書誌レコードとしないとのことだが、「出版者」と「サービス提供者」を識別するための明確な定義がなされていない。また電子ジャーナルを複製物として取り扱わないとされているが、電子ジャーナル内部に出版事項の表示がある場合、優先情報源のタイトル画面に何らかの記述がないかぎりそれが電子ジャーナルの出版事項として事実であるか否かに関わらずそのまま転記することになってしまうといった問題点が指摘されている。

以上の点は、冊子体ジャーナルと別に電子ジャーナルの書誌レコードを作成しなくてもよい運用方法、たとえば所蔵レコードの側の運用（冊子体とは LOC が異なる別所蔵レコードとする）で克服できるという提言が出ている。

また電子ジャーナルのサービスで本文にアクセスできるタイトルについて、個々の資料の”所蔵”目録として網羅的に表現するのは不可能であり、そのような状態で従来の O P A C に電子ジャーナルの情報を混在させることは必ずしもプラスにならないといった問題点も指摘されている。

ここまでの話は電子ジャーナルというまだなんらかのまとまりのある対象についてであったが、インターネット上では無秩序なコンテンツ群の混沌とした海の中から、目指す情報を含んでいそうな情報切片を探し出さなければならない。

電子図書館のコンテンツとしても、従来の書籍や雑誌記事の枠にとらわれない形態のものが増えてくると予想される。

ごく短い文章、断片とも呼べるメモ、データの小さな塊、イラストや写真の一枚一枚などが、その小さな単位で流通し始めると、この情報切片になんとか顔をつけ、識別し、新たな法則に則って整理し直し、管理することによって、利用者にとってコンテンツを判断しやすいものにし、欲しい情報にアクセスしやすい環境を整備しなければならない。

しかし、このような情報切片にタイトルによる識別同定は難しい。インターネット上での情報資源の発見を目的として提案されたメタデータであるダブリンコア (Dublin Core) (注) にしても、このような小さな単位の情報切片に十分に対応できるとは思われない。

ネットワーク環境下における図書館サービスはこのような状況に対して、どこまで対応できるのかわからないが、今回の連続セミナーで何かヒントがつかめるかも知れないと期待している。

(おおだて かずお 京都学園大学総合研究所事務室)

注) Languages for Dublin Core

<http://www.dlib.org/dlib/december98/12baker.html>

大図研京都支所セミナー

「ネットワーク環境下における書籍サービス」の発表者募集中!

1人あたり、発表時間は30分、質疑応答は20分で構成されます。
 応募ある方は奮って応募して下さい。

応募先は

井上雅人まで

立命館大学総合情報センター情報管理課
 〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1
 Tel:075-465-8222 Fax:075-465-8252
 E-mail:ino-mst@st.ritsumei.ac.jp



第6回京都支部委員会報告

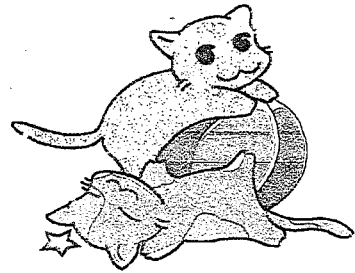
日時：2001年3月6日（火）19:00~21:00
 場所：京都大学附属図書館3Fスタッフラウンジ
 出席：井上、大館、大綱、金森、篠原、田北、呑海、赤澤（オブザーバー）

【報告事項】

1. 会員情報
 - ・新規入会者 1名
2. 財政情報
 - ・1998年度会費未納者 1名
 - ・1999年度会費未納者 5名
 - ・2000年度会費未納者 18名

【審議事項】

1. 大図研京都セミナーについて
 - 1) 個人発表者としてすでに確定している1名のほか、もう1名の発表の内諾を得ていることの報告があり、これを承認した。
 - 2) 役割分担
 - ・開会挨拶 井上
 - ・司会 大館
 - ・講師との連絡・応対 呑海
 - ・原稿依頼 田北
 - ・写真撮影および録音記録 金森
 - ・受付 赤澤、田北
 - ・横断幕準備 田北
 - ・懇親会準備 井上
 - 3) 会場
 - ・キャンパスプラザ2F第2会議室
2. 支部報について
 - 1) 3月号について 数珠つなぎ／大図研セミナー関連記事（大館）
 - 2) 4月号について 記事（篠原）
 - 3) 5月号について 第1回大図研京都セミナー感想（田北、ほか1名）
 - 4) 6月号について 支部総会議案書
第2回大図研京都セミナー感想（赤澤、ほか1名）
 - 5) 7月号について 第3回大図研京都セミナー感想（井上、ほか1名）
 - 6) 8月号について 第4回大図研京都セミナー感想（大館、ほか1名）
 - 7) 9月号について 第5回大図研京都セミナー個人発表報告
3. 財政担当について
 - ・財政担当者の交替について承認した。
4. 支部総会について
 - ・以下の通り決定した。
 - 日時 6月29日（金）19:00から
 - 場所 キャンパスプラザ
5. 次回支部委員会 4月10日（火）



* 支部委員会報告は、大図研京都のホームページにも掲載しています。

<http://www07.u-page.so-net.ne.jp/rg7/dtkk/rec.htm>

大図研京都のホームページ URL

<http://www07.u-page.so-net.ne.jp/rg7/dtkk/index.htm>

会費納入のお願い

2000年度までの会費未納の会員さんは、至急会費の納入をお願いします。
 会費についての問い合わせは財政担当支部委員の大綱浩一さん、又は
 最寄りの支部委員又は、編集子までお願いします。